

令和 7 年度 6 月定例記者会見 次第

日時：6 月 25 日（水）10 時 30 分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK 福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

①ブランド糸島に新たな価値を

産学官民協働で「文化芸術が薫る糸島」を目指す

【市長発表】

文化課

②福岡県初！糸島市こども・子育てオンライン相談の
開始について

【市長発表】

子育て支援課

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：7 月 28 日（月）10 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

ふるさと応援寄附が25億円超え（過去最高） ～事業者の皆様、ご参画をお願いします～

1 糸島市へのふるさと応援寄附金額が過去最高

令和6年度のふるさと応援寄附金額は、約25億7,700万円(速報値)となり、過去最高額を更新しました。

2 多彩な返礼品が魅力

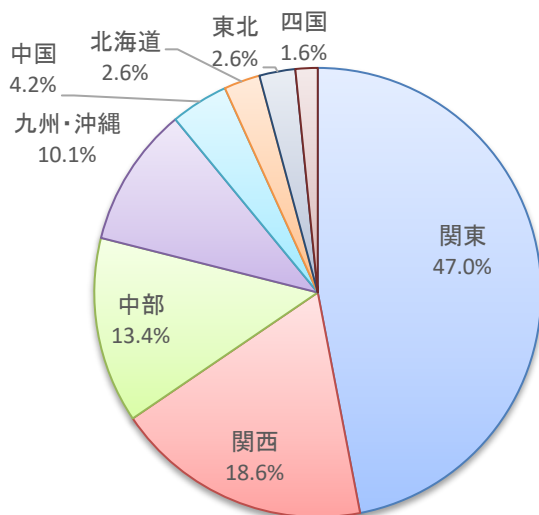
事業者への返礼品のさらなる磨き上げの支援や、スキルアップセミナーなどの事業者支援を強化した結果、登録事業者数は350を超え、県内自治体の中でも上位に位置する返礼品数は4,000品を超えます。

様々な事業所が集積する本市の特色が寄附者のニーズに応えることにつながって、本市の魅力になっています。

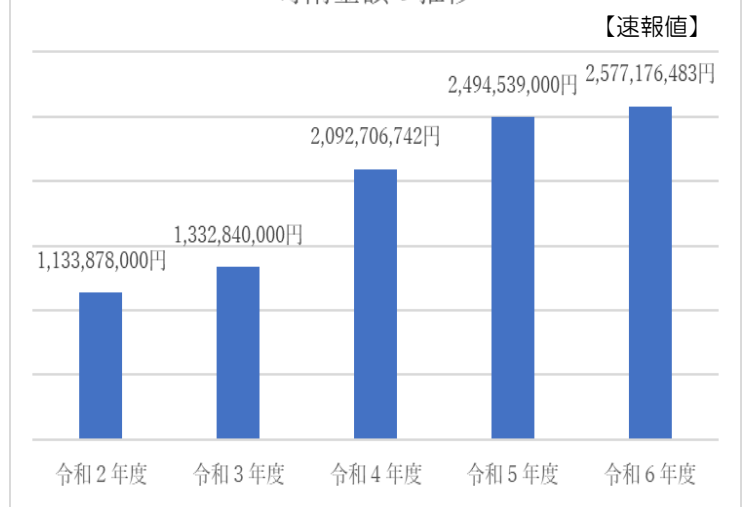
3 全国に糸島ファンを獲得

令和6年度の寄附件数は104,262件(速報値)となりました。

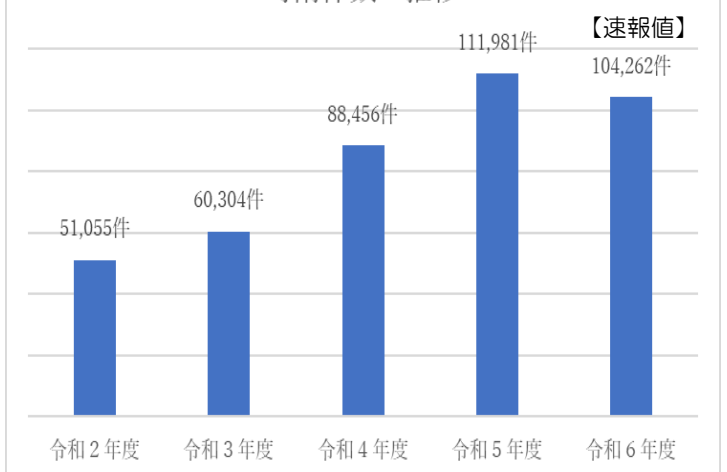
寄附者の地域属性(件数ベース)は、関東47.0%、関西18.6%、中部13.4%、九州・沖縄10.1%で、東京都を中心に多くの寄附が集まっています。



寄附金額の推移



寄附件数の推移



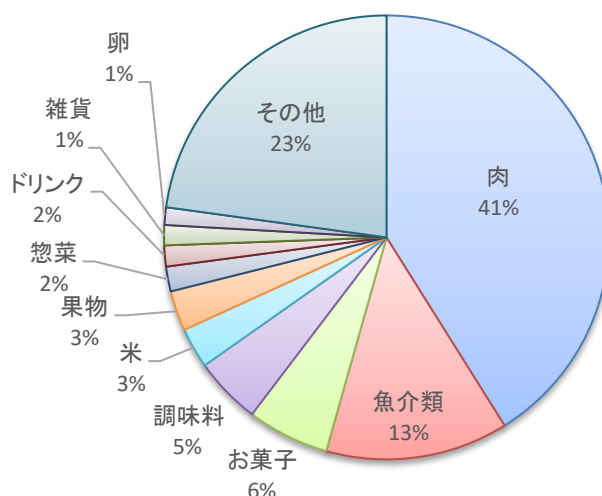
寄附者の満足度向上を図り、リピーター(糸島ファン)を獲得するために、お礼状の同梱、連続テレビ小説「おむすび」を活用したPRなどを行うとともに、定期便の増加により、寄附単価の増加につながりました。

4 返礼品魅力向上、事業者支援の強化

返礼品の項目別で見ると、肉類(精肉、加工肉)、魚介類(明太子、牡蠣)、スイーツなどの食料品が返礼品として特に人気が高く、全体の7割以上を占めている特徴があります。

全国の自治体の返礼品と比較し、より糸島市の返礼品を選んでいただけるよう、ニーズに合わせた返礼品の内容の見直しなどを行い、日々ブラッシュアップを進めています。

また、生産体制に余力がある事業者や、課題のある事業者など、個別にその事業者にあったサポートを行いながら、全体を底上げし、事業者支援の強化を進めています。



5 寄附受付サイトを増加

令和6年10月から中間管理事業者と連携を強化し、寄附受付サイトを4サイトから12サイトに大幅に増加させることで、返礼品の露出と受付の間口を広げる取り組みを行いました。それぞれの強みを持ったサイトをバランスよく利用することで、さまざまな顧客を取り込めるようになり、さらに全国に糸島市及び糸島市の特産品のPR、認知度向上を行いました。

6 取組の継続と新たな取組の融合により持続可能な地域経済活性化へ

ふるさと納税による寄附金は、市民サービス向上施策の財源として大きな影響を与えています。

また、本事業により、寄附額の約3割相当の額の農林水産物や加工品などを返礼品として市が購入しており、制度を通じて地域経済活性化や産業振興の一助となっています。

ふるさと納税の制度が広く普及し、初めて寄附をする方々が少なくなっていく中で、将来に亘って発展する糸島市を作り上げるためにも、今まで築き上げてきた糸島ブランドを守りつつ、新たな取り組みも積極的に取り入れることで、糸島ファンのさらなる獲得と持続可能な地域発展を目指します。

※ 参考

■糸島市ふるさと納税出品セミナー

日時：令和7年8月20日(水)

昼の部 14:00～14:30

夜の部 18:00～18:30 ※昼の部と夜の部とも内容は同じ

※各回終了後に個別相談会を実施

場所：糸島市商工会 2F

講師：株式会社スチームシップ（糸島市ふるさと納税業務委託先）

内容：セミナー…ふるさと納税の仕組みや糸島市への納税状況等について

個別相談…出品する商品や出品方法（出品条件や手続き）等について

主催・問い合わせ：糸島市商工会経営支援課

電話 092-332-3535 メール itoshima@shokokai.ne.jp

■ふるさと納税新規出品を支援 無料撮影会

撮影内容：・ 1 事業者 2 品まで

・ 1 品 4 カットまで

・ 商品は持参（スチームシップ事務所にて撮影）

撮影要件：①糸島市のふるさと納税に初めて出品される事業者であること

②糸島市のふるさと納税へ出品すること

申込・問い合わせ：株式会社スチームシップ 糸島支店（糸島市ふるさと納税業務委託先）

電話 050-8885-0494 メール itoshima@steamship.co.jp

以上

【担当】

経営戦略部 企画秘書課 行政改革推進係 担当:持田、近藤

電話番号:092-332-2061

メール:kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

「糸島市文化芸術推進基本計画」策定着手

ブランド糸島に新たな価値を 産学官民協働で「文化芸術が薫る糸島」を目指す

本市では今年度、地域の文化芸術活動の実情に即した「文化芸術推進基本計画」を策定します（糸島市教育委員会が策定）。

これまで、多くの人に「知ってもらう」「訪れてもらう」「住んでもらう」「働いてもらう」と、段階的に糸島の魅力を発信し、「ブランド糸島」の確立に努めてきました。これからは、糸島の食材や自然などの魅力に加え、多くの人に評価され、市民が誇れる「文化芸術が薫るまち」を目指していきます。

1 文化芸術推進基本計画とは

(1) 法的な位置付け

文化芸術基本法に基づき、国が文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「文化芸術推進基本計画」を策定しており、都道府県及び市町村の教育委員会は、国の計画を参酌して、その地方の実情に即した文化芸術の推進に関する計画の策定に努めることとされている。

(2) 策定目的

市内での文化芸術活動を応援し、市民の心の豊かさや地域の活性化につなげていくため、市における文化芸術活動の現状と課題を把握し、課題解決につながり、文化芸術活動をより一層推進するための方針と施策を示す。

(3) 計画期間 5年

(4) 県内他市の策定状況 ※名称が異なる同等の計画も含む

福岡県内 60 市町村では、福岡市、北九州市、久留米市、大牟田市、柳川市、那珂川市、大野城市、筑紫野市、春日市、太宰府市、古賀市の 11 市が策定（糸島市独自調査）。

2 これまでの経過

○令和 6 年度、糸島市協定大学等課題解決型研究の 1 つとして、九州大学大学院芸術工学研究院 長津結一郎准教授に研究を委託し、計画策定のための基礎調査を実施。

○具体的には、一般市民へのアンケート調査、市内小中高校生へのアンケート調査、文化関係団体へのアンケート調査、関係者へのヒアリング、ワークショップ形式による意見聴取を行い、現状と課題を調査。

※長津准教授は、柳川市、那珂川市、大野城市の文化芸術推進基本計画の策定に携わっており、糸島市民でもある。



九州大学 長津結一郎准教授



市民ワークショップの様子(R6.10.9)

3 産学官民協働による策定

(1) 九州大学とともに策定を進める

九州大学のあるまちという特長を生かし、令和 6 年度の基礎調査に引き続き、令和 7 年度も九州大学長津結一郎准教授に策定業務を委託する。

(2) 庁内連携会議へのヒアリング

関連部署との連携をはかるため、庁舎内に「庁内連携会議」を設置し、本計画素案等についての意見聴取（ワークショップ形式、庁内メールによる）を行う。

併せて、市民向けのパブリックコメントと同じタイミングで、全職員を対象に、本計画案について広く意見を聴取する（庁内パブコメの実施）。



庁内連携会議の様子(R7.5.28)

(3) 計画策定アドバイザーへのヒアリング

学識経験者、市内の文化芸術関係団体等の者、公募による市民、計 10 人を「計画策定アドバイザー」として招へいし、専門的意見や、組織又は生活者の視点等による意見を聴取する。

○学識経験者：九州大学

○関係団体：文化協会、美術協会、観光協会、
シニアクラブ、ライオンズクラブ、
コミュニティセンター長会

○公募市民：3 人（10 人の応募から選定）

○形式：従来型の審議会形式ではなく、ワークショップ形式を採用し、より多くの意見を拾い、またアドバイザー同士が話し合える場を設ける。



計画策定アドバイザーヒアリングの様子 R7.6.18)

(4) 市民向けイベント及びパブリックコメントの実施

市民からも広く意見を集めるため、計画素案が出来上がった時点で、パブリックコメント（意見公募手続）を実施する。

計画策定の機運を高め、パブリックコメントでより多くの意見を寄せてもらえるよう、パブリックコメント実施前に市民向けの文化芸術イベントを開催予定。

（イベント例）コンサート、体験型ワークショップなどを想定

（イメージ）みんなのコンサート



4 社会人・大学院生が地域政策を考える「地域政策デザインスクール」へ課題を提供

○九州内の自治体が提供する課題テーマについて、社会人・大学院生が課題解決や地域の活性化につながるよう地域政策をデザインする人材育成研修「九州大学産学官民連携セミナー 地域政策デザインスクール」に課題を提供。

○8人×2チームが、糸島市における文化芸術の推進をテーマに政策を考える。

○糸島市文化課職員が課題提供者として、地域の実情を伝えるなど、伴走する。

○研修は、5月から11月まで15回程度開催され、今後、九州大学伊都キャンパスでの講義・グループワーク、糸島市内での現地調査・ヒアリングなども行われる予定。

○11月8日（土）に、政策研究発表会が行われる予定であり、その政策のうち、



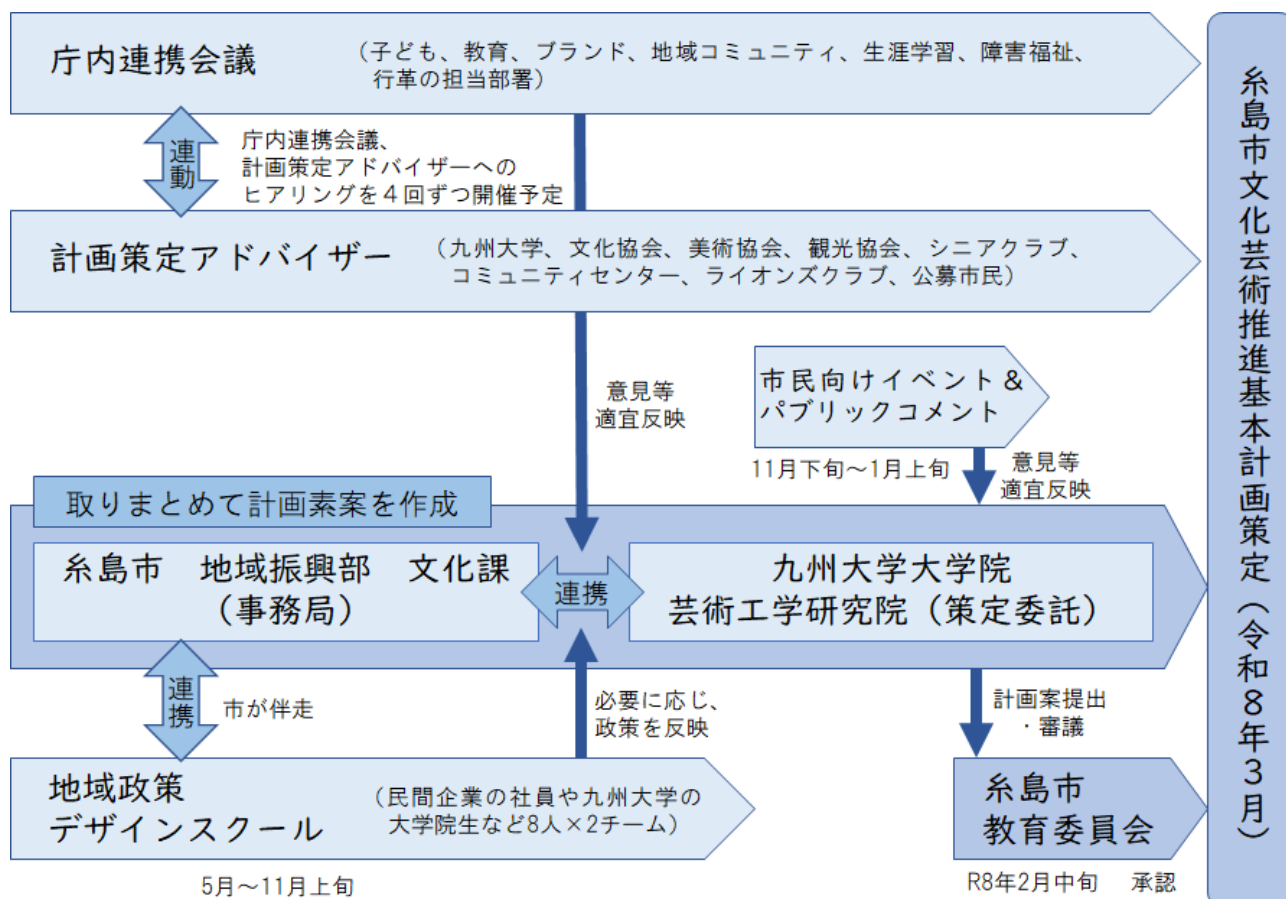
反映できるものについては、計画に反映していきたい。

地域政策デザインスクール Web ページ



地域政策デザインスクールの様子(R7.5.24)

5 推進体制図



6 今後のスケジュール(予定)

- 庁内連携会議及び計画策定アドバイザーからの意見聴取を重ねて、11月までに計画素案を作成。11月下旬に市民向けイベントを開催。
- 12月に市民向け及び庁内向けパブリックコメントを実施。その意見を参考に最終案をまとめ、R8年2月の教育委員会での審議を経て、3月までに策定する。

【既に決定している日時】

(庁内連携会議及び計画策定アドバイザーヒアリング)

- 7/1(火) 14:30～ 第2回庁内連携会議(市役所 庁議室)
- 7/17(木) 14:00～ 第2回計画策定アドバイザーヒアリング(市役所 401会議室)
- 10/7(火) 14:30～ 第3回計画策定アドバイザーヒアリング(市役所 市民ホール)
- R8.2/4(水) 10:00～ 第4回計画策定アドバイザーヒアリング(市役所 庁議室)

(地域政策デザインスクール)

- 7/19(土) 13:00～ 講義 14:45～ グループワーク(九州大学伊都キャンパス)
- 9/27(土) 13:00～ グループワーク(九州大学伊都キャンパス)
- 11/8(土) 13:00 政策研究発表会(九州大学伊都キャンパス)

※その他の日程7/5、8/9、8/23、9/6、9/7、9/13、10/11、10/25は、JR博多シティ、九大筑紫キャンパス、九大西新プラザで開催。詳細は担当まで問い合わせを。

【問い合わせ先】

糸島市 地域振興部 文化課
文化振興係 担当：松藤・大園
電話番号：332-2093(課直通) 内線：1441
メール：bunka@city.itoshima.lg.jp

福岡県初！ 糸島市こども・子育て オンライン相談の開始について

糸島市では、令和7年6月から、福岡県初となる「こども・子育てオンライン相談事業」を開始した。

妊娠や出産、子育てや、体と心が不安定になりやすい思春期の小中高校生の悩みに小児科医、産婦人科医、助産師が対応する。

利用料金は無料（通信料は個人負担）で、いつでも手元のスマートフォン等から、気軽に相談ができる。

1 相談内容

子育てオンライン相談

- ・夜間のこどもの発熱や発疹など、病院受診のタイミングについて
- ・子どもと視線があわない、忘れ物が多くて注意力散漫など発達に関すること など

こどもオンライン相談

- ・学校に行きたくない、友だちとうまくいかないなど心の悩み
- ・体や性についての悩み など

2 相談形態・対象者

相談形態	小児科医、産婦人科医、助産師が相談対応		
	リアルタイム会話が可能 夜間相談 ・平日18時～22時（1枠10分の予約制, 最短15分で予約可能） ・メッセージチャットや動画通話に対応 	24時間365日相談送付可能 いつでも相談 ・毎日24時間、質問を受付 ・原則24時間以内に医師/助産師より回答送付 ・受診に関わらない相談が多い 	リアルタイム会話が可能 日中助産師相談 ・月・水・金13時～17時 ・予約なしで助産師とLINEのメッセージチャットが可能 
対象者	糸島市在住の妊産婦、子育て世代		
	糸島市在住及び通学する小中学生、高校生年代		

3 背景

核家族化の進展や地域のつながりの希薄化などにより、子どもや子育てをめぐる環境は大変厳しく、育児サポートの不足など、子育ての不安や孤立を感じる世帯は少なくない現状を踏まえ、糸島市では、令和6年度に「いとしまで 子育て オールいとしまで 子育て 親育ち」を基本理念とした「糸島市こども計画」を策定。

「こども・子育て総合相談窓口」を設置するなど、子どもや妊娠前から子育て期までの多様な相談を受け止め、子ども・子育て支援強化を図ることとしている。

こども・子育てオンライン相談は、思春期、妊娠・出産、子育て期にある方が安心して相談していただく「相談機能の充実」として、重要な柱のひとつとして位置付けている。

4 事業目的

子育て及び子ども自身の悩みや不安をワンストップで受け止める相談体制の強化を図ることで、子どもが「ここで生まれ、育ってよかった」と感じ、保護者が「ここで子育てできてよかった」と実感できる環境の充実を図る。

5 実施方法

- (1) 方法 業務委託
- (2) 受託業者 株式会社 Kids Public
 代表 ：橋本 直也（小児科医）
 所在地：東京都千代田区神田美土代町

(3) 利用方法

①オンライン相談の利用はまずは会員登録に必要な「合言葉」の入手が必要。入手方法は2通り。

- ◆ 子育て支援課（糸島市役所2階）、こども家庭センターいとハピ（市民交流センター1階）備え付けのチラシから入手
- ◆ 糸島市 HP から必要事項を入力して入手



子育てオンライン相談合言葉発行ページ



こどもオンライン相談合言葉発行ページ

②「合言葉」を入手したら、相談サイトで会員登録。

③会員登録がすんだら、相談サイトから相談。

◆糸島市 HP 子育てオンライン相談

～妊娠・出産・子育ての相談をオンラインで受け付けます～

<https://www.city.itoshima.lg.jp/s048/20250527171916.html>



◆糸島市 HP こどもオンライン相談

～からだやこころ、学校や家での悩みをオンラインで相談できます～

<https://www.city.itoshima.lg.jp/s048/20250529150758.html>



6 事業の特長

- ◆ 全国 194 自治体で導入中。福岡県では初となる。
- ◆ 共働き世帯の増加などによって、対面の相談窓口が開いている時間に相談することが難しい方も、24 時間 365 日、思い立った時に相談が可能。

7 受託事業者より

「産婦人科・小児科オンライン」は、妊娠（不妊含む）、出産、子育て、思春期など、各ライフステージで直面する不安や困りごとに一気通貫で切れ目なく寄り添うことが可能です。在籍する 250 名以上の産婦人科医、小児科医、助産師が、利用者の皆さまが相談したい時にいつでも対応できる体制を整えています。

今回の導入にあたり、糸島市の皆さまにもいつでも・どこでも・気軽にご相談いただける体制を整えました。また、私たちは相談対応が医学的に適切であると同時に、利用者に寄り添ったものになっているかを常に管理しており、相談を受けて終わりではなく、特に産後うつや虐待のリスクが高い利用者については、Kids Public 内の複数の医師・助産師が連携して状況を判断し、自治体へ報告・連携する体制を整えています。自治体の保健師や保育士といった現場職員の方からの専門的なご相談にも対応いたします。

【問い合わせ先】

糸島市 子ども教育部 子育て支援課子ども政策係 波多江、清水
電話番号：092-332-2095 メール：kosodate@city.itoshima.lg.jp



産婦人科オンライン



小児科オンライン

糸島市にお住まいの方限定

小児科医・産婦人科医・助産師に スマホで無料相談できます



子どもの肌荒れが
なかなか
良くならない

どうしたら良い？



妊娠してから
便秘と腰痛が辛い

改善策や使える薬を
知りたい



下痢で保育園を
お休みしたけど

登園可能となる
目安を教えてください



母乳が
足りているか心配

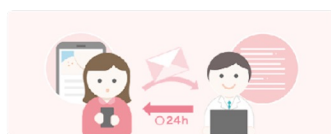
ミルクは
追加が必要？



いつでも相談

毎日24時間受付

原則24時間以内返信

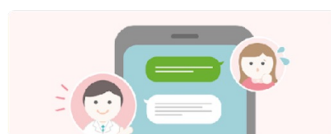


ウェブサイトからテキストで相談

夜間相談

平日18時～22時

1枠10分の予約制

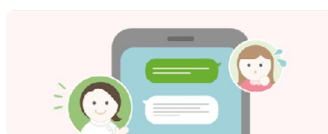


LINEのチャット / 音声通話 /
ビデオ通話 / 電話

日中助産師相談

月・水・金13時～17時

予約なし

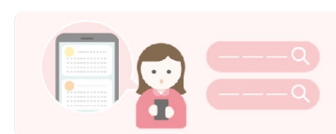


助産師とLINEチャット

みんなの相談検索

毎日24時間検索

すぐに結果表示



2万件以上の相談事例を検索

コンテンツ配信

医師・助産師による季節や状況に合わせた医療記事や、子育てのポイントを解説するLIVE動画をお届け

まずはLINEの
友だち追加を！



会員登録に必要な合言葉

市HPより取得できます

※LINEをご利用でない場合は、「小児科オンライン」または「産婦人科オンライン」を検索してウェブサイトから会員登録・利用を行ってください。手順は裏面をご覧ください。

※糸島市の方限定で無料で利用できます。糸島市外に住民票のある方は利用できませんのでご了承ください。

担当者の紹介（一部）



橋本 直也
小児科医

どんな些細なことでも大丈夫です。
お気軽にご相談ください。



鳥海 玲奈
産婦人科医

分かりやすいアドバイスを心がけてい
ます。お気軽にご利用ください。



太田 愛
助産師

私自身も三児の母です。どんな些細な
ことでも構いませんので、いつでもご
相談ください。

会員登録の手順 同じIDで小児科と産婦人科を利用できます！

産婦人科・小児科
オンラインのサイトで
「会員登録」を選択

会員登録

ログイン

「メールアドレス」の
入力・認証

メールアドレス

abc@

「合言葉・氏名・郵便
番号」などの入力

合言葉

表面の合言葉

氏名

山田 花子

サービスの利用手順

いつでも相談

産婦人科・小児科オンラインの
サイトで「質問を送る」を選択



質問を送る

「相談内容」を入力

原則24時間以内に返信

相談したいこと

子どもの肌のカサカサが気にな
る

夜間相談

産婦人科・小児科オンラインの
サイトで「相談日時を予約」を選択



相談日時を予約

「予約日時」を選択

予約時間になったら相談開始

4月16日（月）

18:00～18:10

選択する

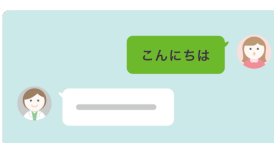
日中助産師相談

産婦人科オンラインの
マイページから「LINE連携」を行う

LINE連携

マイページに戻る

受付時間内に産婦人科オンライン
のLINEにメッセージを送る
予約不要



みんなの相談検索

産婦人科・小児科オンラインの
サイトで「みんなの相談検索」を選択

※小児科で検索可能な事例は、0歳～15歳の
事例となります



検索条件・キーワードを入力
して検索

条件に沿った過去の相談内容を
すぐに表示

0 歳 0 ヶ月

発熱

検索

医療記事配信

LINEを友だち追加



LIVE配信

配信予定・視聴URLはこちら
<https://kids-public.co.jp/live/>



お問い合わせ

事業に関して：糸島市こども・子育て総合相談窓口 TEL 092-332-2140

サービス内容に関して：産婦人科・小児科オンライン各ウェブサイト問い合わせフォームよりお願いします。

小児科医 産婦人科医 に スマホで無料相談できます

スマートフォン、パソコン、自宅の電話から、小児科医・産婦人科医に無料で相談できます。みなさんの秘密は、必ず守ります。

※ただし、必要なときは関係機関に連絡する場合があります。



生理痛が 毎月辛い

痛み止めやピルについて相談できます

友だちと うまくいかない

家族、学校の先生、つきあっているパートナーのことも、相談できます

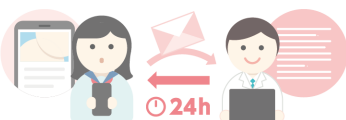
学校に 行きたくない

「行きたくない」って言えることは、大事なことです。気持ちを聞かせてね

体や性について 悩みがある

専門の先生（医師）が優しく回答します

いつでも相談



毎日24時間受付

原則
24時間以内に返信

ウェブサイトから相談を送付できます

夜間相談



平日18時～22時

相談時間：10分間
※相談は予約制

LINEのメッセージチャット・音声通話・動画通話 / 電話

まずは**会員登録**しよう！ 登録方法は**2種類**



小児科・産婦人科オンライン
公式HP

スマホ登録



インターネット登録

インターネットで

「https://syounika.jp/lp/gov/anytime_teens」を入力してね

会員登録に必要な合言葉

ほーむぺーじ
市のHPから とることができます

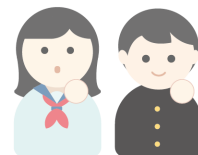
※保護者の方がご利用する場合には、別の合言葉があります。合言葉は裏面の「糸島市こども・子育て総合相談窓口」までお問い合わせください。

※**糸島市のみなさんだけの大切な合言葉です。**他の人に教えたり、撮影した画像をSNSにアップしたりしないでください。

小児科医

産婦人科医

の先生に こんなこと相談してみよう！



みなさんの秘密は、必ず守ります。

※ただし、必要なときは関係機関に連絡する場合があります。

小児科医への相談例

- 友だちやパートナーとうまくいかない
- 学校に行きたくない
- 自分の体がイヤだ
- 勉強や進学が不安
- お腹が痛い・頭が痛い



産婦人科医への相談例

- 生理が不定期に来ている
- 生理痛を軽くしたい
- 体や性について悩みがある
- 好きな人のことで相談したい
- 生理が始まる数日前に体調が悪くなる



会員登録してみよう！

小児科・産婦人科オンラインのサイトで「会員登録」を選択

いつでも相談☎️できます

みんなの秘密は、必ず守ります。



会員登録

メールアドレス入力

メールアドレス

abc@



メールアドレス認証

▼URL

https://syounika.jp/xxxxxxxxxxx

URLをタップ

合言葉・ユーザーネーム・現在の学年を入力

合言葉

すまいるとしま

ユーザーネーム

はなこ

現在の学年

☒ 中学1年生

メールマガジンの受けとり

※「はい」または「いいえ」を選択

医師・助産師が書いた記事のメール

医師や助産師が書いた記事をメールでお送りします。受け取りますか？

☒ はい ☐ いいえ

新しい機能などのお知らせのメール

新しい機能やサービス、機能の変更、キャンペーンなどがあつた場合に、お知らせのメールをお送りします。受け取りますか？

☒ はい ☐ いいえ

登録完了



同じIDで
小児科と産婦人科に
相談できます！

いつでも相談☎️📱で相談してみよう！

小児科・産婦人科オンラインのサイトで「相談する」を選択

いつでも相談☎️できます

みんなの秘密は、必ず守ります。



相談する

相談内容に合わせて、「小児科の先生または、産婦人科の先生に相談する」を選択

小児科の先生に相談する

産婦人科の先生に相談する

相談内容の登録

※登録したアドレスに返信が届くよ

相談したいことを教えてください。

ニキビが気になります

先生からの回答を確認

医師の回答を確認する



24時間
以内に返信

夜間相談📞📱を予約してみよう！

夜間相談はこちら！から、相談内容に合わせて、「小児科オンライン」「産婦人科オンライン」を選択

夜間相談はこちら！

📞 小児科オンライン >

📞 産婦人科オンライン >

「相談予約をする」を選択



小児科オンライン

相談予約をする

予約日時を選択

※相談にのってくれる先生の名前が見られるよ（直近1週間）

今週の当番医一覧はこちら >

4月16日（月）



18:00～18:10（日本時間）

選択する

相談内容を入力

相談したいことを教えてください。

ニキビが気になります

予約時間
になったら
相談開始

お問い合わせ

事業に関して：糸島市こども・子育て総合相談窓口 TEL 092-332-2140

サービス内容に関して：産婦人科・小児科オンライン各ウェブサイト問い合わせフォームよりお願いします。

糸島市こども・子育てオンライン相談事業

産婦人科・小児科オンライン

Kids Public



産婦人科オンライン
SANFUJINKA ONLINE



小児科オンライン
SYOUNIKA ONLINE

成育過程の健康を守り、その向上に貢献する

Kids Publicは、成育過程にある人たちに貢献します。

成育過程とは、妊娠期、胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期及び思春期の各段階を経て、大人になるまでの一連の成長の過程をいいます。

また私たちは、健康を、身体的だけでなく、社会的、精神的なウェルビーイングが保たれた状況と捉えています。

Kids Publicの使命は、この成育過程を一連で捉え、その過程にある人たちおよび関わる人たちの心身の健康を守り、向上することです。



産婦人科・小児科オンライン



産婦人科オンライン

サービスはすべて無料

**産婦人科医・助産師に
気軽に相談**

妊娠中～産後はもちろん
すべての女性の悩みにこたえます

いつでも相談
どんな悩み・質問もお好きな時間に

毎日24時間受付
原則24時間以内に返信

📧 質問を送る

夜間相談
リアルタイムに相互のやりとり

平日18～22時

☎ 相談日時を予約



小児科オンライン

サービスはすべて無料

**小児科医・助産師に
気軽に相談**

0～15歳のお子さんについての
疑問・悩みにこたえます

いつでも相談
どんな悩み・質問もお好きな時間に

毎日24時間受付
原則24時間以内に返信

📧 質問を送る

夜間相談
リアルタイムに相互のやりとり

平日18～22時

☎ 相談日時を予約

- 産婦人科医・助産師・小児科医に24時間365日相談可能
- LINEや電話・テキストなど好きな相談方法を選択できる
- 利用満足度99%超

登録会員数

9万名+

利用可能 自治体数

194市町村

導入は毎年拡大中！！

累計 対応相談数

20万件+

過去に発生した医療事故は0件

利用満足度

99.4%

過去の相談対応を医学的適切さとユーザ体験の両面から評価

全国38都道府県・194自治体で利用可能

都道府県		市町村	都道府県		市町村
北海道	北海道	えりも町,月形町,沼田町,秩父別町,妹背牛町,北竜町,夕張市,鷹栖町,栗山町	近畿	三重県	多気町,東員町
東北	青森県	むつ市		兵庫県	相生市,朝来市
	秋田県	藤里町		大阪府	藤井寺市,大阪狭山市
	岩手県	遠野市,八幡平市,岩手町,岩泉町,釜石市,大槌町,未来かなえ機構(大船渡市・陸前高田市・住田町)		奈良県	三宅町,川上村,川西町,御所市,大和高田市
	山形県	東根市		和歌山県	海南市
	宮城県	丸森町,角田市			
関東	福島県	石川町,昭和村,猪苗代町,本宮市,棚倉町（実証実験）,矢祭町（実証実験）,塙町（実証実験）,鮫川村（実証実験）	中国・四国	鳥取県	大山町
	群馬県	昭和村		島根県	美郷町
	千葉県	市原市,白子町,銚子市,富里市（実証実験）		広島県	府中市,安芸太田町
	茨城県	龍ヶ崎市		山口県	県全体（19自治体）
	埼玉県	横瀬町,上尾市,深谷市		香川県	琴平町
	東京都	府中市,日野市,八王子市,練馬区		徳島県	県全体（24自治体）
	神奈川県	県全体（プレコンセプトケア相談事業・33自治体） 南足柄市,大井町,箱根町,横浜市		愛媛県	伊方町,八幡浜市,久万高原町,上島町
中部	新潟県	村上市,糸魚川市,加茂市	九州・沖縄	高知県	四万十町,土佐町
	富山県	県全体（15自治体）		長崎県	南島原市,小値賀町
	石川県	能登町		熊本県	菊陽町,高森町,山都町
	福井県	南越前町,あわら市,高浜町		鹿児島県	錦江町,宇検村,十島村
	山梨県	富士河口湖町		沖縄県	伊江村,宮古島市,うるま市,伊平屋村,与那国町（実証実験）
	長野県	白馬村,木祖村,上松町,岡谷市			
	静岡県	裾野市,川根本町,下田市			
	愛知県	春日井市,南知多町			

産後うつ病になる人の割合が減少

【横浜市・東京大学との実証事業】

産婦人科オンライン・小児科オンラインを妊娠期から提供することで
産後うつ病の高リスクとなる人の割合がおよそ2/3に減少（ランダム化比較試験）



※横浜市「令和2・3年度オンライン健康医療相談モデル事業における成果連動型業務委託」

※令和2年9月1日～令和4年2月28日まで横浜市内に在住の妊産婦へオンライン医療相談（遠隔健康医療相談）や医療・健康情報を提供

※国立大学法人東京大学の研究チームからの学術的評価



橋本直也（小児科医）

Kids Public 代表取締役 / 小児科オンライン代表
小児科専門医, 公衆衛生修士
こども家庭審議会成育医療等分科会委員

2009年 日本大学医学部卒
2011年 聖路加国際病院にて初期研修修了
2014年 国立成育医療研究センターにて小児科研修修了
2016年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
2015年- 都内クリニック勤務、株式会社Kids Public設立

小児科を選んだのは、シンプルに「子どもが好きだから」です。
研修医時代、ガンで入院していた女の子が元気になって退院する時に、「これ
を乗り越れたから、私はこの先、人生どんなことがあっても乗り越えられる気
がする」って言ったんです。すごく感動しました。

小児科での患者さんとの関わりは、何十年先のその子の未来に繋がっていく。
小児医療が担っているのは子どもたちの未来であることに他の科にない強い魅
力を感じて、改めて小児科医という仕事は素晴らしいなと思いました。

ある日、「子どもが泣き止まない」と救急車で来院した母子を診察しました。
女の子の右足は骨折しており、母親は自ら「私が手を上げてしまいました」と
打ち明けてくれました。

見るからに余裕なく、疲れ切った様子の母親。話を伺うと母子家庭で子どもは
発達に問題があるとのこと。多忙で外来にもなかなか通えず、そんな中で収ま
らない子どものいたずらに、ついかっとなってしまったとのことでした。

病院で待っているだけでは、健康は守れない。

この母子の診察後、「これは、お母さんが悪いのだろうか？ 社会がどうにかで
きなかったのか？」と思いました。

もちろん骨折を治すことも大事です。しかし、母親が我が子を虐待するほど
追い詰められないように守っていくのも、社会の大事な役割に違いありませ
ん。

「ICT技術を用いて、医療者とお母さんを繋ぐことができれば、病院に来る前の
不安・孤立に寄り添えるのではないか」

その思いで、『小児科オンライン』の創業を決意しました。



重見大介（産婦人科医）

産婦人科オンライン代表
産婦人科専門医, 医学博士

2010年 日本医科大学卒
2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了
2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了
2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
2022年 東京大学大学院 博士課程（医学）修了
2018年- 病院勤務、研究活動と並行して、
株式会社Kids Publicの産婦人科を統括

医療は病院だけで行われているものではなく、医学だけで全ての健康の課題は解決できない。

産婦人科医として病院でお産に携わったり、婦人科がんの手術などをしたりする中でそう考え、産婦人科専門医取得後に「公衆衛生学」の大学院へ進みました。

学ぶ中で社会的課題の多さを感じました。産科領域でいえば、妊娠・出産・子育てに多くの課題があります。しかし女性の月経や更年期、若くしてなるがんなどの婦人科領域の問題も社会的課題として存在します。

このような課題に触れる中で、「社会的課題と医療の橋渡し」をしたい、特に「病院の外に医者がいることで解決できる問題」を解決したいと思うようになりました。

このような問題は病院で待つだけではなく、スマートフォンやSNSを用いたこちらから働きかけるアプローチをしないと、問題を抱えている層に届きません。

その頃、同じ大学院の先輩であり、既に小児科目線で課題に取り組んでいたのが、代表取締役の橋本さんでした。

産婦人科と小児科は「お産の前後」を扱うという意味で、共通する課題も多くあります。

もちろん子宮頸がん検診など、小児科とは異なる課題もありますが、オンライン健康医療相談の下地があり、シナジーがある中で始めることが良いと考え、すでに『小児科オンライン』のサービスを展開していたKids Publicに参画しました。

小児科と産婦人科が協働し、妊娠中から産後～育児まで、そして女性の健康を人生を通して切れ目なくサポートしたい。

そんな思いで、『産婦人科オンライン』を運営しています。

「糸島市こども・子育てオンライン相談事業」として導入いただく
産婦人科・小児科オンラインについて

いつでも医療者が寄り添う安心感

スマートフォンから産婦人科医・助産師・小児科医に繋がることで心身の健康をサポート

いつでも医療者に
相談できる
安心感



医療記事配信や
LIVE配信で
勉強



ふとした悩みは
botや情報サイトで
自己解決



困ったらいつでも
オンラインで
医療者に相談



通常時



不安発生

好きな場所から気軽に相談可能

小さな悩み、聞きづらい悩みもオンラインなら気負わずに相談できます

いつでも相談

- 毎日24時間、質問を受付
- 原則24時間以内に医師・助産師より回答送付



夜間相談

- 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- メッセージチャットや動画通話に対応



日中助産師相談

- 月・水・金13時～17時
- 予約なしで助産師とLINEのメッセージチャットが可能



ヘルスリテラシーの向上にも貢献

不安が発生する前から、医療者の書いた記事や悩み解決botで安心を提供

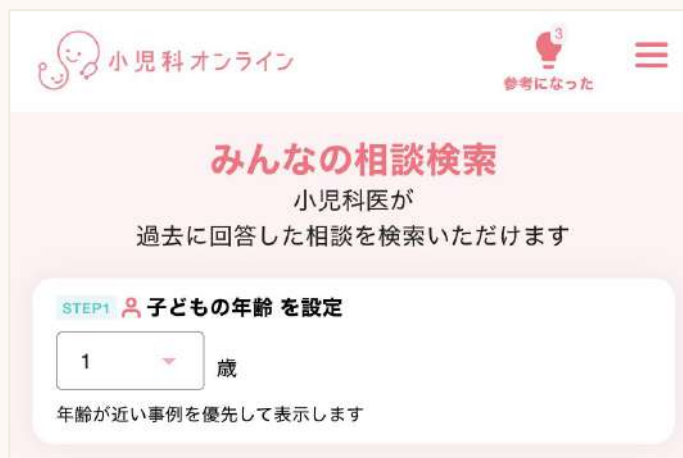
オンラインLIVE配信

- 授乳や卒乳、離乳食などに関する動画をLIVE配信
- 配信後1ヶ月はアーカイブ動画を閲覧可能



みんなの相談検索

- 2万件以上の相談-回答セットを検索可能



医療記事配信

- 小児科医が執筆した記事をメールやLINEで配信



回答の質の担保

ユーザーの状態に応じた医学的助言と、相談者の気持ちに寄り添った回答の提供を重視

相談例

- 最近発熱38度近くあり2-3日経ったあと、熱が下がりましたが、急にブツブツができました。病院に再度受診した方がいいでしょうか？（小児科 いつでも相談）

相談例

- いつでも相談の回答文は700～1,000文字程度
- 平均回答時間は約6.5時間

小児科オンライン いつでも相談（小児科医）（回答）

ご相談ありがとうございます。
小児科医の橋本直也と申します。
よろしくお願い致します。

お子さんの発疹に関してのご相談ですね。お熱は下がってよかったですね！でも新しく発疹が出てきてご心配ですね。病院受診の目安に関して重点的にお答えします。

まず、お熱と発疹の原因からですが、発熱のあと発疹が出てきたという経過から、一般的には、突発性発疹を可能性の一つとして考えます。お子さんはこれまで突発性発疹にかかっていますか？突発性発疹はヘルペスウイルス6型と7型の2種類によって起こり、2回かかる可能性があります。

突発性発疹は高いお熱が数日続いた後、解熱とほぼ同時に発疹を引き起こしてくる病気です。解熱後に発疹が出てくることで、突発性発疹と診断することができます。そして、この発疹はこの病気が治りつつある証拠でもあります。そのため、発疹自体は今後数日続きますが、基本的に発疹に対しては何もする必要がなく、このまま様子を見ていただくだけで結構です。お子さんの様子が元気そうであれば特に病院受診も必要としません。

食欲もあり、いつも通り寝ているということであれば、それも良いサインです。発疹は誰かにうつるということもありませんので、お子さんが元気でさえあれば、いつも通り過ごしていただいても構いません。

少しはご参考になりましたでしょうか？
どうぞお大事になさって下さい。

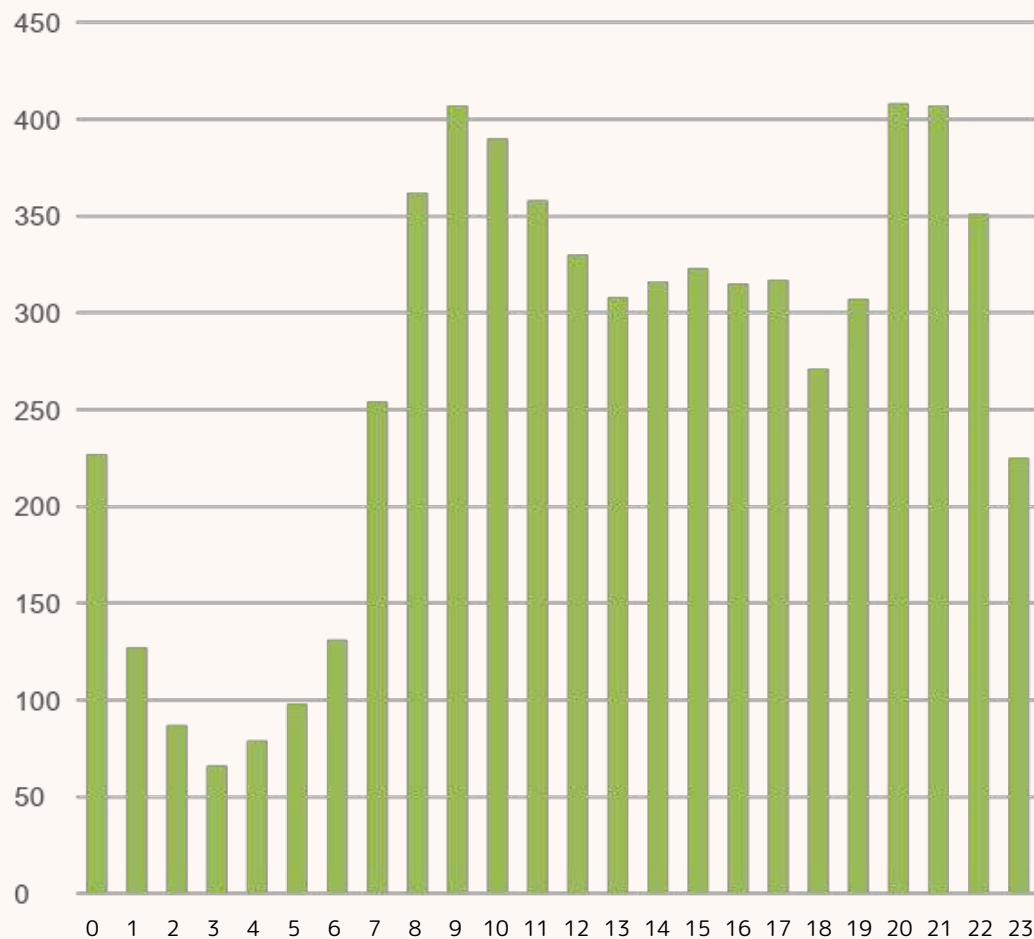
後ほど、利用後のアンケートがメールで送られます。お子様のその後のご様子も気になりますので、よろしければアンケートにご協力頂けると幸いです。

小児科オンライン
橋本直也

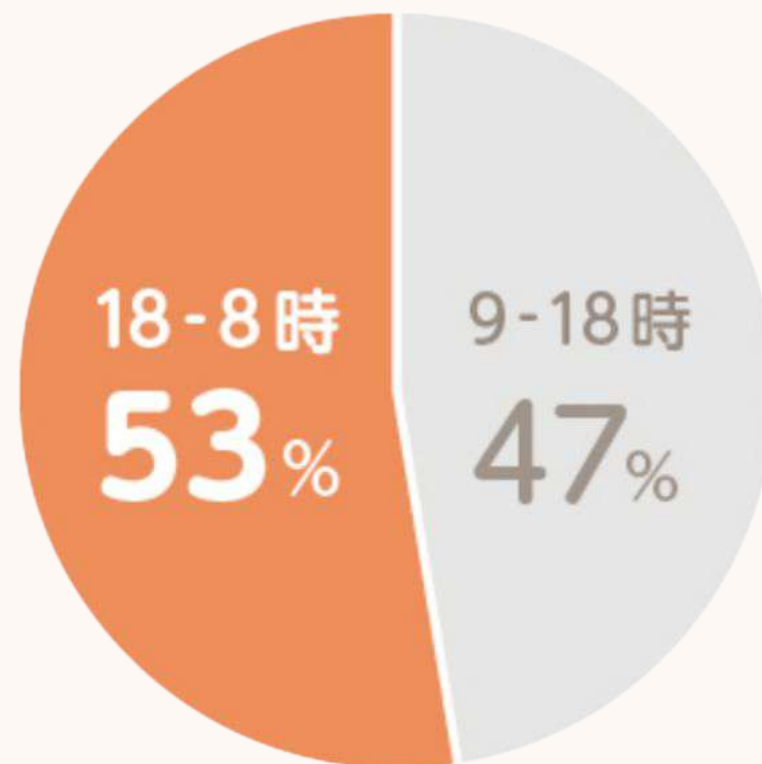
夜間における医療相談のニーズ

自治体の相談窓口や病院が閉まっている夜間に、オンライン相談を利用するユーザーは多い

いつでも相談受信時間分布(n=6,464)



時間帯による比率(n=6,464)



※調査期間：2020年11月1日～2021年6月21日

多様なニーズ・相談に対応

日常の育児相談から専門的な悩みまで、気軽に相談できることで安心につながる

	小児科医		産婦人科医		助産師	
	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談
1位	育児相談など	育児相談など	保健相談 (妊娠中)	月経不順	育児相談など	育児相談など
2位	乳児湿疹	発達相談 (正常範囲含む)	月経不順	切迫流産	その他の 授乳相談	精神的な 不調や不安
3位	湿疹	頭部打撲	保健相談	保健相談 (妊娠中)	授乳リズム (生活リズム含む)に 関する相談	母乳分泌量に 関する相談
4位	便秘症	急性上気道炎	切迫流産	保健相談	精神的な 不調や不安	その他の 授乳相談
5位	急性上気道炎	乳児湿疹	保健相談 (産後)	避妊相談	母乳分泌量に 関する相談	授乳リズム (生活リズム含む) に関する相談

小児のこころや発達の相談も可能

多様化する子どもに関する悩み・不安にも、小児科医がオンラインで相談対応

相談しにくいことも自宅から気軽に相談できる

よく忘れ物をして先生に怒られてしまう...子どもも辛そうだけどどうしたらいい？

子どもと目があいにくい気がする。ネットで調べて自閉症の可能性も書いてあり心配。専門家に一度相談したい。

下の子が生まれてから上の子が赤ちゃん返りするようになった。どう対応したらいい？

8か月になったけれどハイハイをしない。発達が遅れているのではと心配。



発達に関する記事配信で情報収集できる

小児科オンライン
ジャーナル

うちの子、発達障害かも？～基本的な特徴と考え方～

2016年11月22日 syounikaonline

発達



園や学校でよく友達とトラブルになる、忘れ物をする、担任から頻繁に連絡がくる……。そんな我が子を見て、「うちの子、発達障害かも？」とってしまうことはありませんか？
最近、発達障害に注目が集まっています。園や学校に適應できない子、子育てに手のかかる子に多いと言われていますが、でも発達障害って何か、よくご存じない方も多いのではないのでしょうか。
発達障害は、大きく3つに分けられます。

多くの現役医療者が所属

- 対応する相談員は、必ず現役の産婦人科医・助産師・小児科医に限っています。採用の条件として**日本の国家資格を有していること、専門領域での臨床経験を3年以上有していること**を定めています。
- 多様な専門領域の医師・助産師が所属しているので、悩みに合わせて相談員を選択できます。
- 2020年には、経済産業省の委託を受け、コロナ禍の健康不安に対応するため**全国民へ無償提供を一時的に実施**した実績も有しております。その際は現在の6倍の規模の相談に対応していました。



小児一般



産婦人科一般



産婦人科一般
不妊



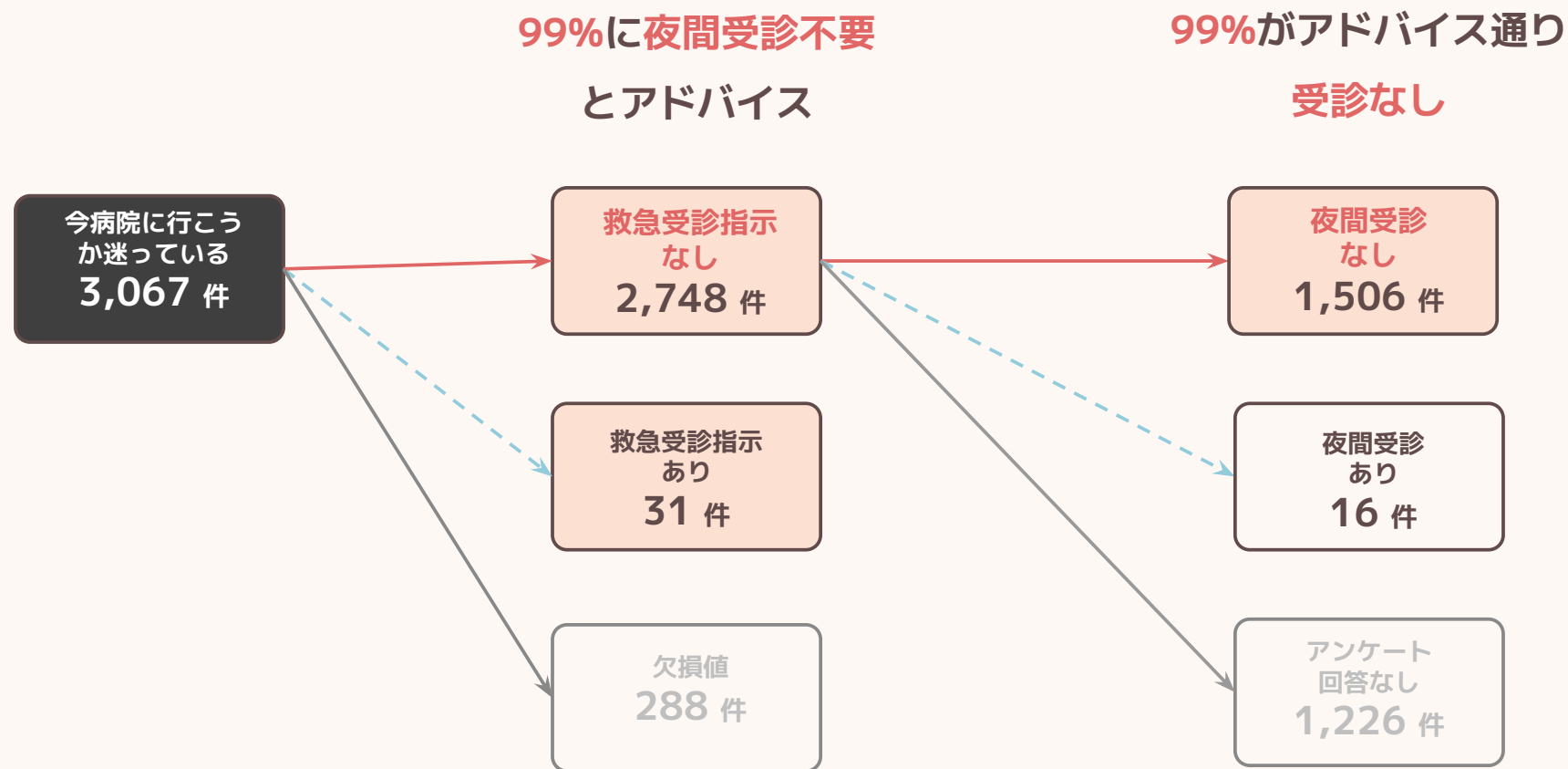
助産一般
母乳栄養



助産一般
母乳栄養

保護者の夜間受診の負担を軽減

夜間の受診を検討しているユーザの99%に受診不要とアドバイス



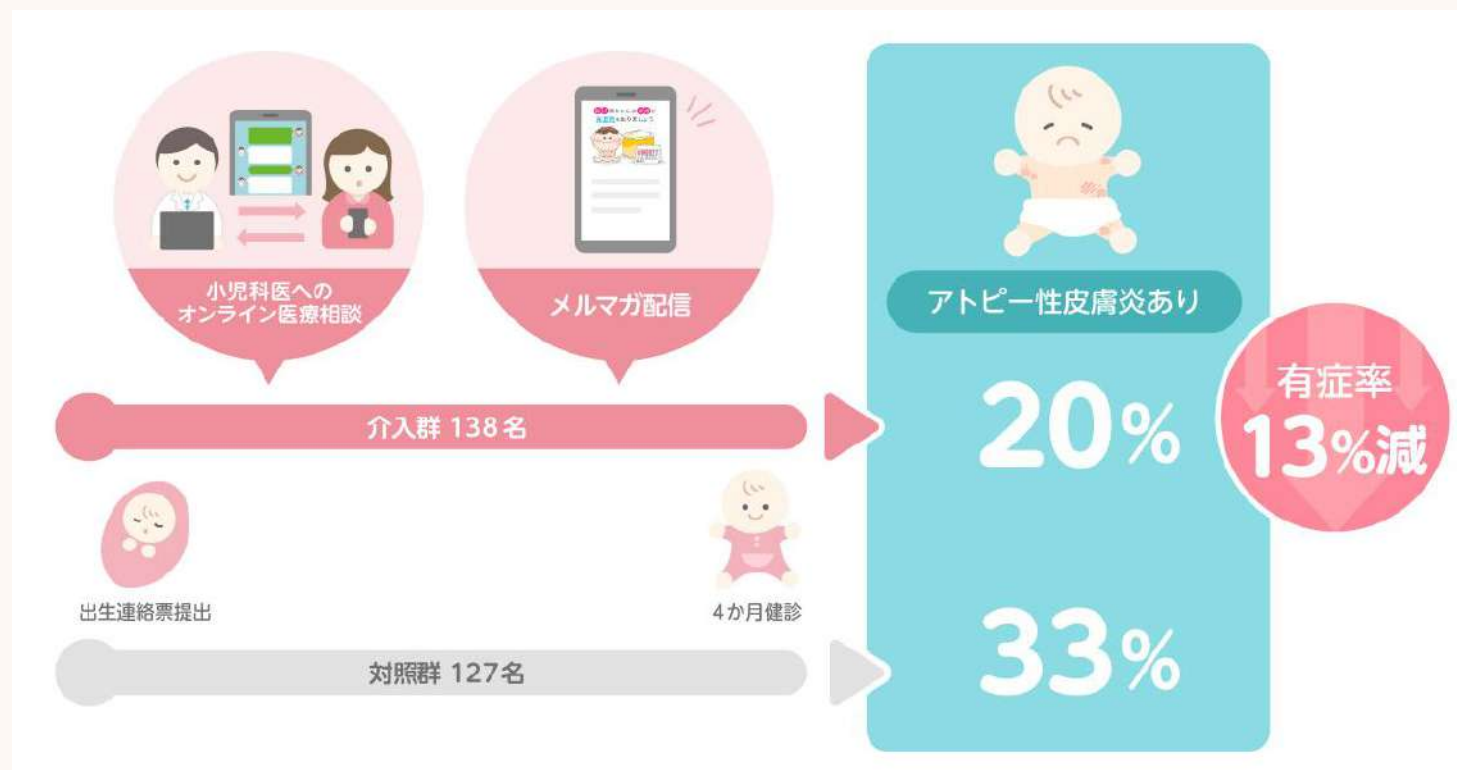
根拠資料：

経済産業省 令和2年度補正遠隔健康相談事業体制強化事業（小児・産婦人科専門窓口）最終報告（公開用）

https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2020FY/000663.pdf

アトピー有症率の低減に効果

小児科オンラインの提供によって、アトピー有症率が相対的に13%減少



■研究の概要

対象：2017年11月1日～2018年5月31日の間に、横浜市栄区に出生連絡票を提出した母子

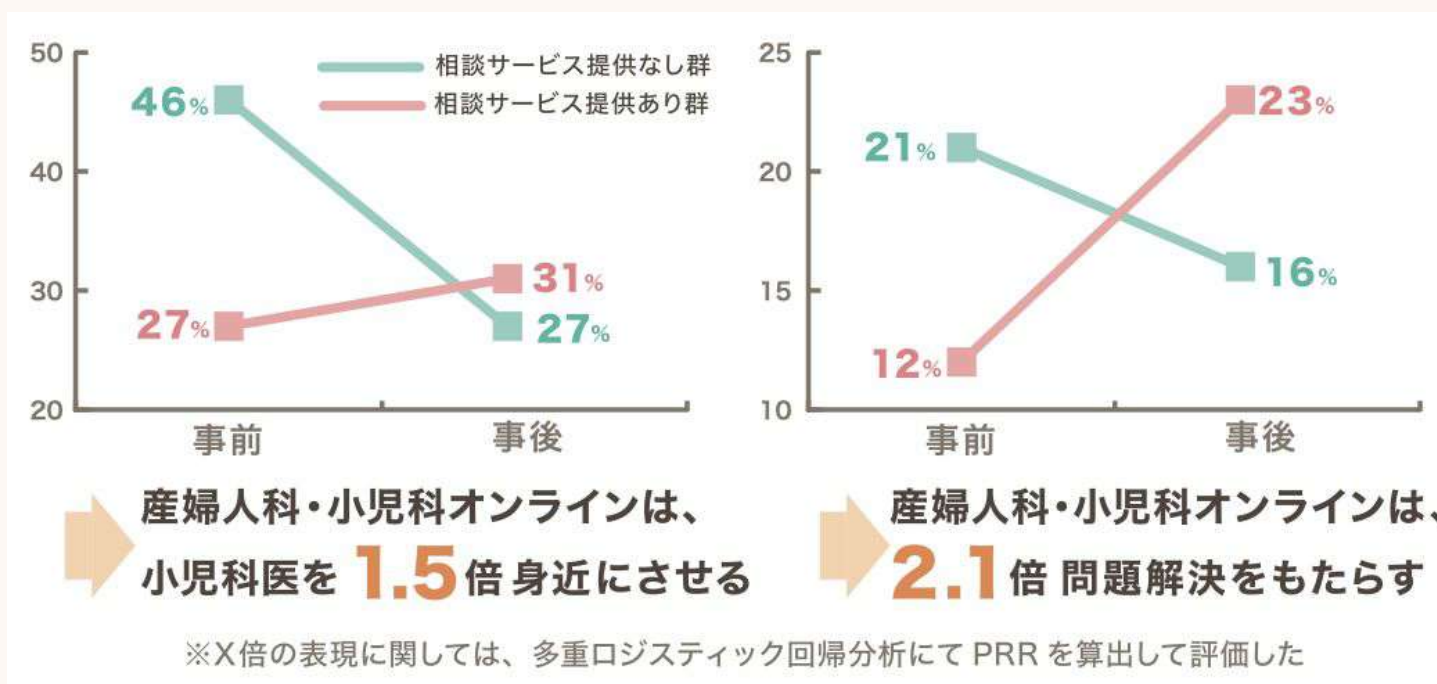
方法：オンライン医療相談などを提供する介入群と、提供しない対照群にランダムに振り分け、介入群には、出生連絡票提出後から生後4か月までオンライン健康医療相談の無料提供とメールマガジンを配信

対象者数：介入群140名、対照群138名（解析対象は介入群138名、対照群127名）

評価方法：横浜市栄区役所で実施された4か月健診の際に、同一の1名の小児科医がどちらの群に属しているかはわからない状態で子どもの皮膚の状態を診察。United Kingdom Working Party (UKWP) criteria に基づいてアトピー性皮膚炎の有無を判断。

医療へのアクセス格差を解消

医療過疎地に住んでいる方に産婦人科・小児科オンラインを無料提供することは、
小児科医をより身近にし、妊娠～子育てに関する不安解消につながる



■研究の概要

山口県立総合医療センターへき地医療支援部による厚生労働省科学研究費研究「へき地における小児科、産婦人科領域の遠隔健康医療相談実証」

対象：2020年6～12月に実施された長門市および美祢市の妊娠後期面談、赤ちゃん訪問、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を受けた母親

方法：オンライン健康医療相談を提供する介入群と、提供しない対照群に振り分け、参加後4か月半後*に実施した事後アンケートの結果を解析**

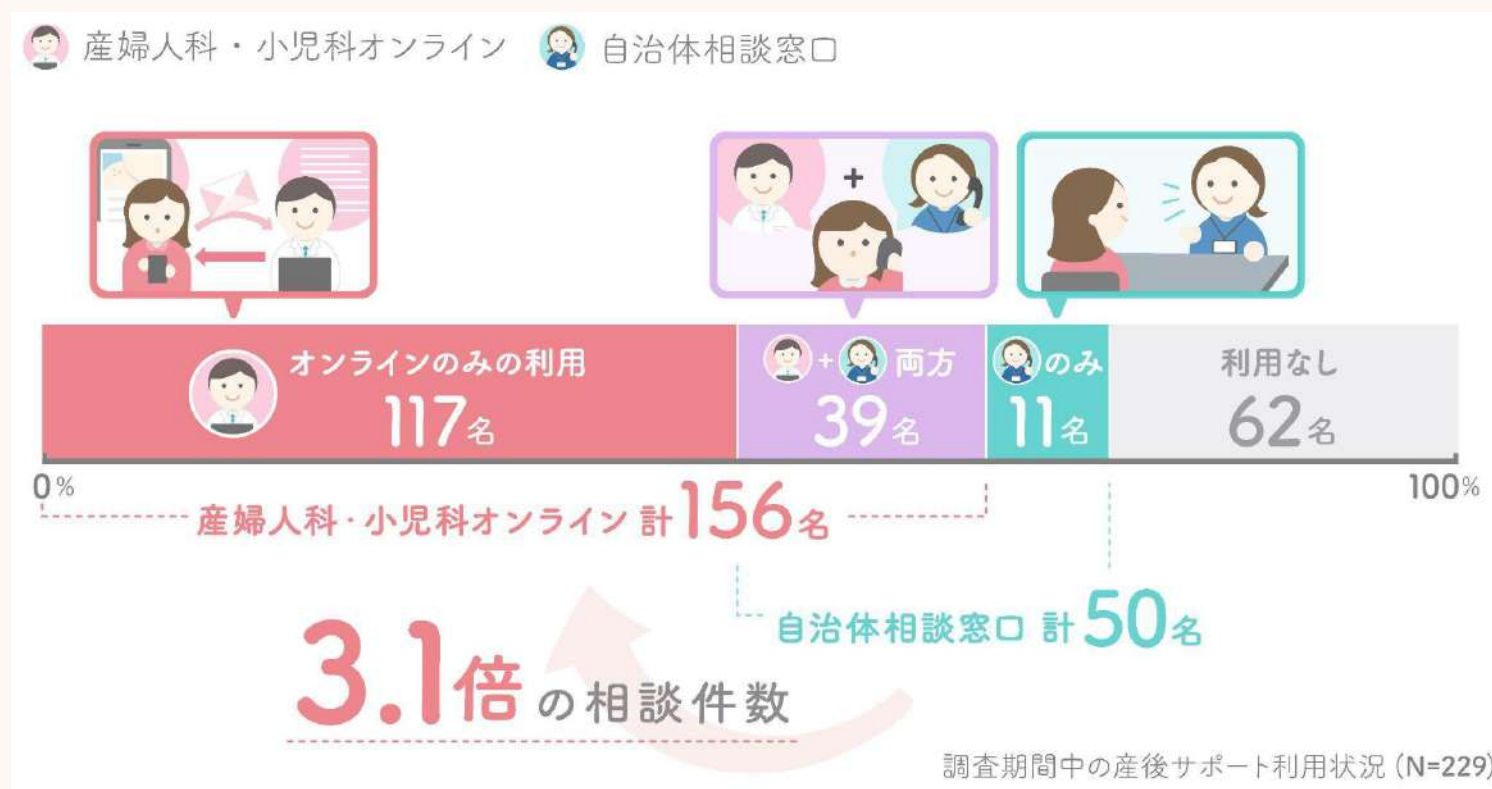
対象者数：対照群174名、介入群81名（解析対象）

*4か月半は全体の平均値。4-7か月の幅あり

**結果変数を事後アンケート回答における「そう思う」とそれ以外の二値変数とし、両群での背景因子の影響を考慮するため、事前アンケートの結果などを調整した多重ロジスティック回帰分析を実施

産後の相談を3.1倍に

オンラインでの相談窓口を提供することで、より多くの住民の悩みにリーチが可能



※東京都DX推進実証実験プロジェクト

※産婦人科・小児科オンラインを産後サポートのDX（デジタルトランスフォーメーション）施策として2021年4月から9月まで東京都世田谷区、板橋区の産後住民へ提供

会社名	株式会社Kids Public
所在地	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町11番地8　SK美土代町ビル5階
設立	2015年 12月
代表者名	橋本 直也（小児科医）
事業内容	インターネットを介した成育医療
従業員数	27名（2024年8月現在）
受賞歴	2016.8　Open Network Lab 12th Batch Demodayオーディエンス賞 2016.11　TechCrunch Tokyo 2016「スタートアップバトル」優勝(114社中) 2017.3　東京都から有限責任監査法人トーマツが委託を受けて運営する「ASAC Batch3 Demo Day」優勝 2017.9　第11回キッズデザイン賞にて経済産業大臣賞を受賞 2017.11　第6回健康寿命をのばそう！アワードにて厚生労働大臣賞を受賞
問い合わせ先	pr@kids-public.co.jp

Kids Public

Mission

成育過程の健康を守り、その向上に貢献する

Vision

誰もが成育過程を健やかに過ごせる社会の実現

Value

健康への貢献

エビデンスに基づく事業展開

人とテクノロジーの協働

格差の是正

社会的な視点

Credo

既成概念からの解放

あくなき向上心

相互理解

長期安定的な成果の追求

